



「10月から地域包括ケア病床を導入しました」

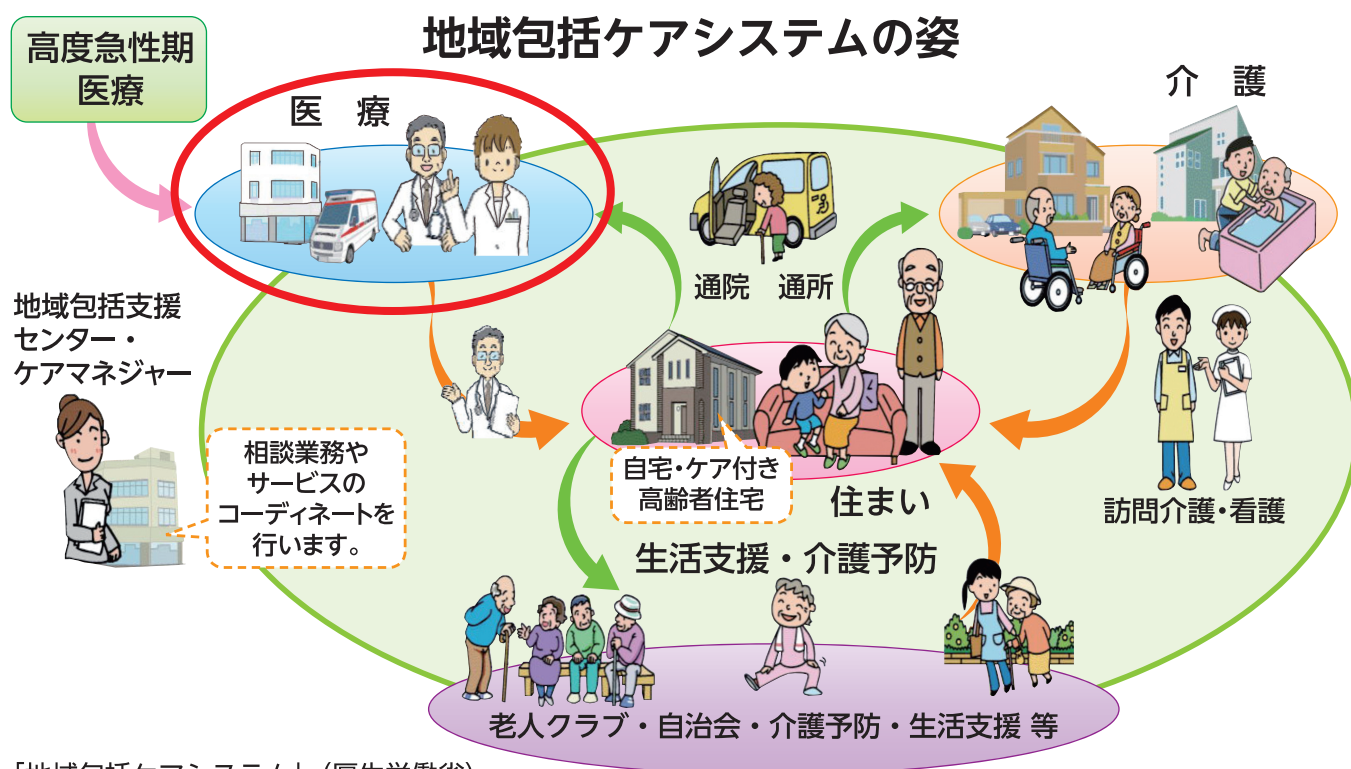
NTT 東日本東北病院 院長 佐藤 譲

皆様方には日頃から、地域医療連携を通じて大変お世話になっております。

当院は急性期病院として「心のこもった温かく良質な医療の提供」を理念に地域医療に貢献してまいりましたが、国の医療制度は団塊の世代が75歳（後期高齢者）を迎える2025年問題に向けて、地域完結型医療へと舵を切りつつあります。

この流れの中で、地域包括ケアシステムの充実に向けて病院の機能分化と役割が明らかにされ、本年4月の診療報酬改訂はそのシステムを促進する内容となりました。地域包括ケアシステムは、住まい・医療・介護・生活支援が一体となって高齢者を支える仕組みです。

*次ページへつづく



「地域包括ケアシステム」（厚生労働省）

(http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/chiiki-houkatsu/dl/link1-4.pdf)
をもとに NTT 東日本東北病院が作成

病院理念

人権と生命の尊厳を守り、心のこもった温かい良質な医療の提供に努めます。

～目次～

- 地域包括ケア病床について……………P.1
- 地域包括ケア病床について……………P.2
- ふれあい看護体験等記事……………P.3
- 市民公開講座、TOPICS ……………P.4

当院では、このような国の医療政策に従い、従来の急性期医療を維持しながら、地域包括ケアシステムも充実させるように体制を整えつつあります。この 10 月からは地域包括ケア病床 10 床を機能させました。来年には地域包括ケア病棟（26 床）に移行させる予定です。皆様と協力して地域包括ケアシステムの中で地域連携型医療における役割を果たしていきます。

地域包括ケア病床（棟）は 3 つの機能を備えています。一つは急性期病棟からの患者の受け入れ、二つ目は在宅などにいる患者の緊急時の受け入れ、三つ目は在宅への復帰支援です。当院は以前からこれらの機能に取り組んでいましたが、今後はこれら三つの機能を地域包括ケア病床（棟）に集約させながら、さらに充実を図り発展させていきます。

地域包括ケア病床（棟）では、在宅復帰に向けてリハビリを充実させ、地域で生活できるように身体機能を向上させます。また、在院日数が 60 日以内での退院が必要となりますので、専任の看護師を配置して今まで以上に患者・家族・地域の方々と調整や連携を図り、退院支援や退院調整を行っていきます。

多職種が協働してリハビリやケアを進めます。医師・看護師・退院調整専任看護師・セラピスト・介護福祉士・看護助手など多くの職種が地域包括ケア病床（棟）に関わることで患者さんやご家族への日常の生活支援や家族支援が充実してきます。

地域の皆様方には従来の急性期医療に加えて、地域包括ケア病床（棟）も有効に活用していただければと思います。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



NTT 東日本東北病院の医療活動

総合診療
救急患者受入れ（在宅・施設）
周術期医療など
慢性疾患管理

前方
地域連携
亜急性期患者
リハビリ患者
受入

二次
救急医療

後方
地域連携
療養・在宅支援

地域包括ケア病床・病棟 3つの機能

急性期病床
からの
患者受入れ

在宅などに
いる患者の
緊急時の
受入れ

在宅復帰
支援



車いすを押してみましょう

今年のふれあい看護体験は 4 名の高校生を迎えました。1 日を通して院内を見学したり、車いすやストレッチャーでの移送、手指衛生の実習や心電図、酸素マスクの説明を受けるなどの体験をし、病棟では実際に入院されている患者さんの足浴や手浴、配膳も行いました。

4 人の高校生からは看護師を目指す気持ちが更に強くなったなどの感想が聞かれ、この日 4 人の担当だった看護師たちからは自分の新人時代を思い出せた、逆にエネルギーをもらえたなどの感想が出ました。お互いにとっての良い経験となりました。



手洗いはできているでしょうか



血圧測定



お年寄りの気持ちになってみます

ふれあい看護体験 平成26年8月1日(金)

職場体験学習 平成26年8月19日(火)～22日(金)

8 月 19 日からの 4 日間、2 名の中学生が当院で職場体験学習をしました。

オリエンテーションや普段あまり見ることのできない手術室や検査部などの院内設備の見学を通して病院で働くたくさんの人たち（職種）について知ってもらい、ロビーでの受診案内体験では実際に来院された患者さんと直に触れる機会もありました。



受付前での受診案内



車いすをきれいにしてくれました

女性専用病床がオープンしました

周術期病棟に女性病床を誕生させました。

女性が入院中に気持ちよく過ごせるような内装、調度類を用意しました。療養期間中ゆっくりと過ごしていただ

けるものと思います。
差額室 2 人部屋と 4 人部屋各一室となっています。



2 人部屋



4 人部屋



市民公開講座



第 40 回

『肺炎を予防していつまでも健康！』

「高齢者の肺炎予防」

呼吸器内科 医師 田 中 章 子

「明日からできる誤嚥性肺炎の予防」

言語聴覚士 大 村 悠

「口腔ケアと肺炎予防」

言語聴覚士 小 原 美 紀

いつもは各専門医による市民公開講座ですが、この日は呼吸器チームの多職種による講座でした。田中先生からの高齢者の肺炎予防についてのスライドの後、言語聴覚士 2 名から日常で誤嚥しない為の姿勢や食事について、口腔ケアと肺炎にはどんな関係があるのか、専門職ならではの視点のスライドが続きました。

(H26.7.16)

第 41 回

『たかがたんぱく尿されどたんぱく尿
～知ろう、防ごう、慢性腎臓病～』

腎臓内科 医師 安 藤 重 輝

定期健診などの尿検査で尿蛋白や潜血が出たら腎臓が傷み始めているサインです。早めに腎臓内科を受診しましょう。慢性腎臓病の場合の患者さんに合わせた栄養士による食事管理、専門医による投薬調整などの総合的な管理が当院では可能です、と安藤先生。 (H26.9.16)



夏のロビーコンサート
朗読ライブ

演目「杜子春」



Topics



朗 読／森 一馬さん(朗読俳優)

ピアノ／日向美里さん

共 演／鈴木潤子さん(わらび座所属) (H26.8.18)

〒984-8560 仙台市若林区大和町2-29-1
NTT東日本東北病院

地域医療連携室

TEL 022-236-5899
FAX 022-236-5920